

第151回テクノラボツアー

「環境・資源・エネルギー分野を支える化学研究の最先端」

大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野では、我々の社会を豊かにすべく、化学をベースとした先進材料開発や分析・評価技術開発に係る研究を行っています。今回のテクノラボツアーは、環境・資源・エネルギー分野の化学研究の最新の動向について、応用化学分野が主体となって開催いたします。これまでとは少し趣向を変え、応用化学分野のOBも含め、当該研究分野で活躍されている方々を講師にお迎えし、最近話題となっている環境・資源・エネルギー分野に関する化学研究の最先端についてご紹介いただきます。また、応用化学分野で行われている研究開発ならびに研究シーズをポスター形式でご紹介いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

日時	2026年3月2日(月) 13:45～18:00
開催方法	対面式もしくはリモート形式の参加を選択可能な『ハイブリッド形式の講演会』とします。（一部対面のみ）
申込方法	産官学HPの第151回テクノラボツアー参加申込フォームからお申込み下さい。 (URL: https://liaison-omu.jp/technolab/technolab151/)
会場	大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B4棟1階 W103大会議室（地図は末尾に記載しております）
主催	大阪公立大学産官学共同研究会、大阪公立大学大学院工学研究科
協力	大阪公立大学学術研究推進本部・URAセンター、大阪商工会議所、堺商工会議所



＜プログラム＞

13:15～13:45 受付

13:45～13:50 開会挨拶 八木 繁幸 大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野 教授
大阪公立大学産官学共同研究会 理事

13:50～14:25 講演I『アニオン欠陥制御を基軸とするアンモニア合成・分解触媒の創出』

北野 政明 氏 東京科学大学 総合研究院 元素戦略MDX研究センター 教授

【講演概要】 H^- 、 N^{3-} 、電子などアニオン欠陥を有する無機固体材料を基盤とし、これらのアニオン欠陥が直接的あるいは間接的に反応に関与することで、低温・高効率アンモニア合成・分解を実現する触媒開発を進めている。本講演では、これらに関する最近の研究成果について紹介する。

14:25～15:00 講演II『外部刺激を用いる易解体性材料の開発』

館 秀樹 氏 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 和泉センター

高分子機能材料研究部 有機高分子材料研究室 研究室長（主幹研究員）

【講演概要】近年、使用後に剥離や解体が可能となる易解体性材料に注目が集まっており、リサイクルを志向した粘着剤や接着剤への適用が検討されている。本発表ではこれまでに開発してきた易解体性材料（光分解性架橋剤、超音波剥離粘着剤、電気剥離テープ）について紹介する。

15:00～15:15 休憩

15:15～15:50 講演III『元素戦略としてのヨウ素化学～資源循環からエネルギー技術へ～』

浅倉 聰 氏 伊勢化学工業株式会社 開発本部技術調査部 主席

【講演概要】ヨウ素は日本が誇る国産元素資源であり、医療分野から工業分野まで幅広い領域で私たちの生活を支えている。私たちは資源供給国としてこの貴重な資源を有効活用し、且つ資源を将来に残していく責任がある。本講演では、ヨウ素化学の最新の取り組みや新用途開発について紹介する。

15:50～16:25 講演IV『ノーベル賞技術の社会実装～クロスカップリング反応と導電性高分子の工業化』

江口 久雄 氏 ならでは戦略研究所（元 東ソー・ファインケム株式会社 代表取締役社長）

【講演概要】有機合成は日本のお家芸であり、ノーベル賞に繋がった学術成果も多い。私は企業研究者の立場で、二つのノーベル賞技術（①クロスカップリング反応、②導電性高分子）の社会実装に取り組んできた。本講演では、私共の研究成果を紹介しながら、産学連携の在り方について述べたい。

16:25～16:30 閉会挨拶 松岡 雅也 大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野 教授
応用化学分野長

【ここからは対面のみのプログラムとなります】

16:30～18:00 ポスターセッション『教員・学生による応用化学分野の研究紹介』

工学研究科 応用化学分野 教員・大学院生

【講演概要】工学研究科応用化学分野の研究グループの概要と最新の代表的な研究事例について、教員ならびに大学院生がポスター形式で紹介させていただきます。

*ポスターセッションをご覧いただきながら交流親睦会を行います

◆参加費

参加者区分	ツアー参加費	交流親睦会費
(1) 産官学共同研究会正会員・理事会員	無料	無料
(2) FUDAI特修塾塾生	無料	無料
(3) 学内・法人内関係者	無料	無料
(4) 1~3以外の方で参加初回の企業・団体	無料	無料
(5) 1~3以外の方で参加2回目以上の企業・団体	¥5,000(消費税込み)	無料

- ・参加者の区分(4)の参加初回の企業もしくは団体の方は、参加費を無料とさせていただきます。
- ・お申込みいただいた方に、お振込み方法とZoom参加用URLについてのご案内をいたします。
- ・ポスターセッションおよび交流親睦会は、対面でのみ開催いたします。

◆申込み締切

・2026年2月24日(火) 参加申し込み締切 (対面式参加・リモート形式参加ともに)

- ・お振込みが期日に間に合わない場合は、当日徴収させていただきます。

◆免責事項 (※必ずお読みください)

- ・一度お振込みいただいた参加費の返却はできませんのでご了承ください。
- ・回線の状況などにより、中継が途切れる場合がありましても、研究会は一切の責任を負いません。

◆禁止事項

- ・録画・録音・撮影はご遠慮願います。

◆問い合わせ先

【テクノラボツアーに関する事】

大阪公立大学大学院工学研究科 工学支援事務室内
大阪公立大学産官学共同研究会 事務局
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
TEL : 072-254-7947
E-mail : eng-sankangaku[at]ml.omu.ac.jp
[at]を@に変更してください。

【技術相談に関する事】

大阪公立大学 学術研究推進本部 URAセンター
中百舌鳥キャンパス 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
杉本キャンパス 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
E-mail : gr-knky-uracenter[at]omu.ac.jp
[at]を@に変更してください。

◆キャンパス案内 (対面式 講演会場)

講演会場 : 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B4棟 1階 大会議室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1



- 講演会場まで 南海高野線「白鷺」駅から徒歩約20分
- Osaka Metro 御堂筋線「なかもず」駅から徒歩約25分

